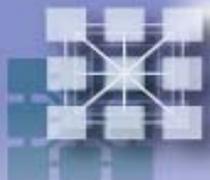


The 10th TRIZ Symposium in Japan 2014
Future with TRIZ!

開会にあたって

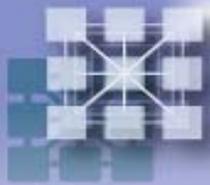
2014年9月11日

NPO法人日本TRIZ協会理事長
三原 祐治



日本TRIZシンポジウムの開催経緯

	主催	開催時期	開催場所	発表数	参加者
第1回	日本 TRIZ 協議会	2005年9月	ラフォーレ修善寺	20件	104名
第2回		2006年8月末	パナヒルズ大阪	34件	157名
第3回		2007年8月末	東芝研修センター	34件	204名
第4回	NPO法人 日本 TRIZ 協会	2008年 9月10日～12日	ラフォーレ琵琶湖 (滋賀県)	46件	180名
第5回		2009年9月 9月10日～12日	国立女性教育会館 (埼玉県)	42件	132名
第6回		2010年9月 9月9日～11日	神奈川工科大学 (神奈川県厚木市)	40件	165名
第7回		2011年9月 9月8日～10日	東芝研修センター (横浜市)	33件	115名
第8回		2012年9月 9月6日～8日	早稲田大学 (東京都新宿区)	37件	110名
第9回		2013年9月 9月5日～6日	統計数理研究所 (東京都立川市)	28件	126名
第10回		2014年9月 9月11日～12日	早稲田大学 (東京都新宿区)	30件	131名



第10回TRIZシンポジウムの趣旨と企画

★今回は日本で開催されるシンポジウムとして、
第10回目という節目にあたります。

そこで、今回の主題：**TRIZで拓く未来!**のもとに

1) TRIZとその関連分野での

- ・初心者・経験者各層へのセミナーの場（1日目）
- ・適用・研究成果の発表・討論の場（1～2日目）を提供し、
技術レベルの向上と普及・推進・適用の仕方の向上に資する。

2) TRIZ関係者の交流の場を提供し、TRIZコミュニティの発展に資する。

3) 「未来に向けてのTRIZの目指すべき方向とイノベーションへの寄与」
のテーマの下、パネル討論を企画した（本日午後に実施）。

4) 10周年記念として、今までの発表者のうち貢献の大きい6名に
「大会貢献賞」を贈ることにしました。本日夕刻の交流会の場で表彰します



今回（第10回）シンポジウムの全体像

1) 昨年に引き続き会期を2日間に圧縮

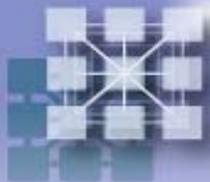
- ・最近の経済状況から、より参加しやすいように変更
- ・初心者向けのチュートリアル
- ・一般講演は全てパラレルセッション

2) シンポジウムの主題（**TRIZで拓く未来!**）

に沿った基調講演・特別講演・特別セッションを設定
＜次ページのスライドを参照＞

3) 各種団体の支援を大幅に拡大

- ・後援：品質工学会、日本知財学会
- ・協賛：統計数理研究所リスク解析戦略研究センター、日本設計工学会、日刊工業新聞社、日本科学技術連盟、日本バリュー・エンジニアリング協会、応用統計学会、日本創造学会



第10回TRIZシンポジウム基調講演・特別講演

基調講演：

競争力向上の手段としてのTRIZの経済（実業）・教育における可能性

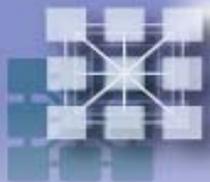
アナトーリー・ギン（国際TRIZ協会 学校教育担当副会長、ロシア）

特別講演：

海外における科学的手法の現状と展望

～タグチメソッドによる機能のロバストネスの最適化～

田口伸（ASI Consulting Group / American Supplier Institute(ASI)）

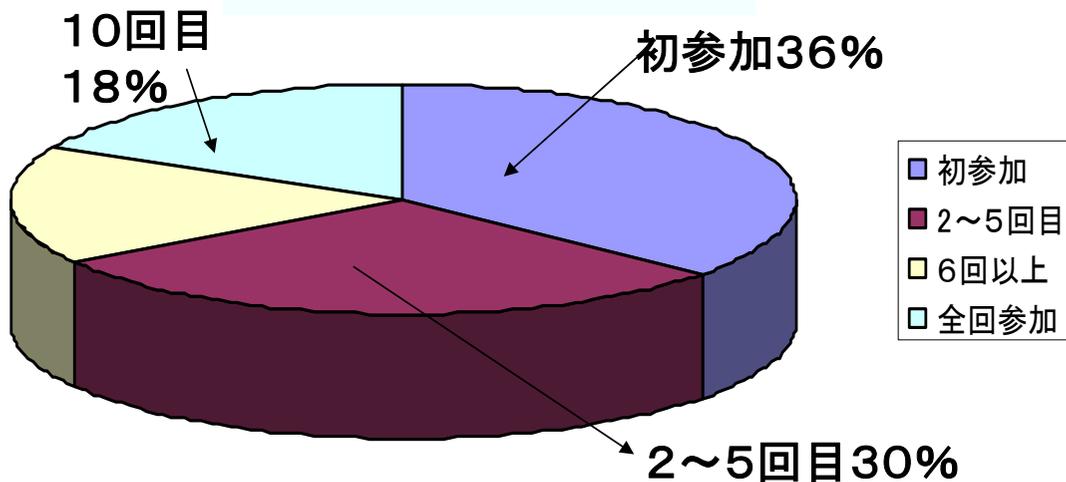


参加者のプロフィール

参加者の参加回数

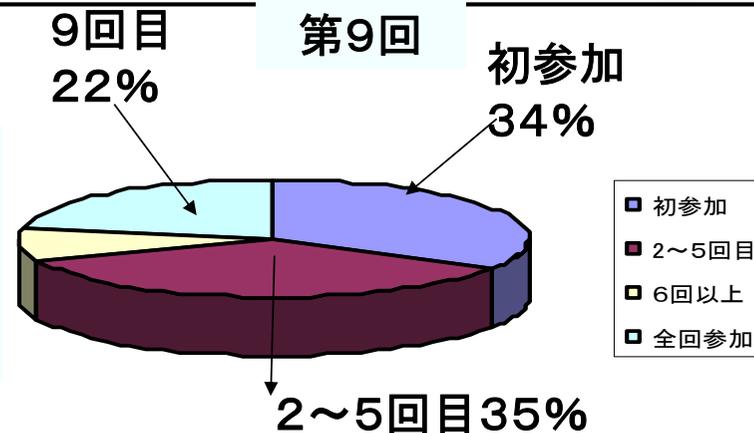
今回(第10回)

参加回数

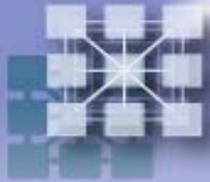


第9回

参加回数



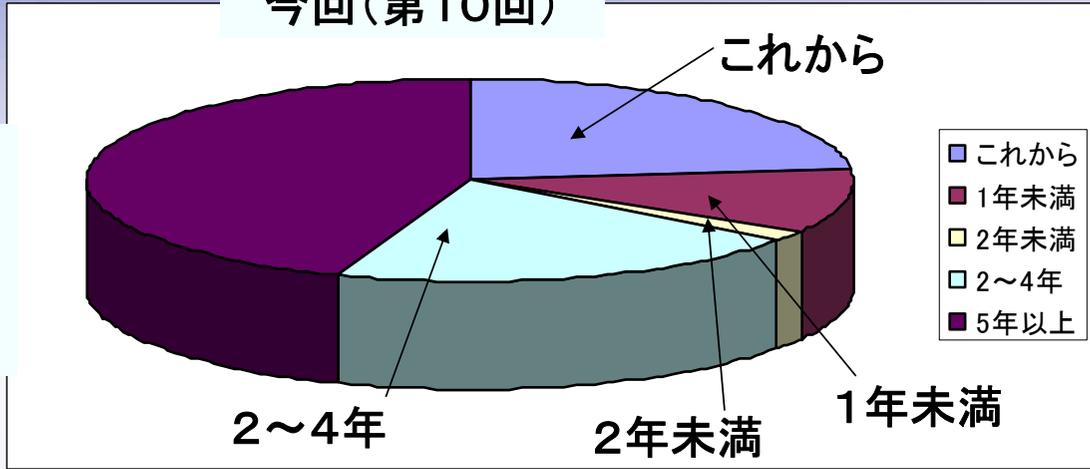
初めての参加者が30%をkeep



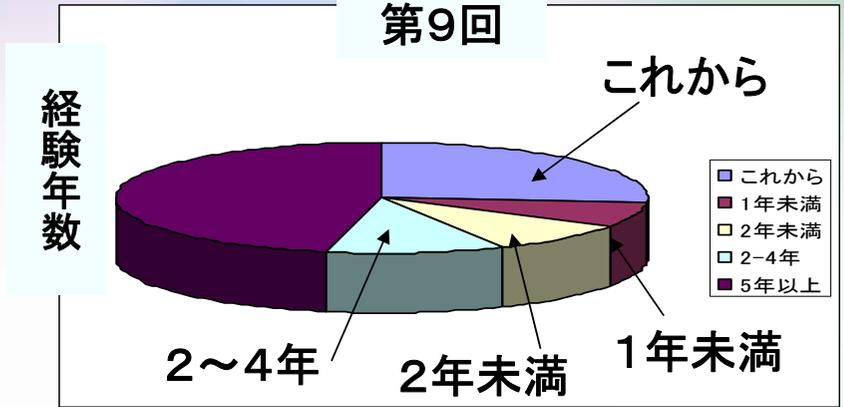
参加者の経験年数と立場

経験年数

今回(第10回)

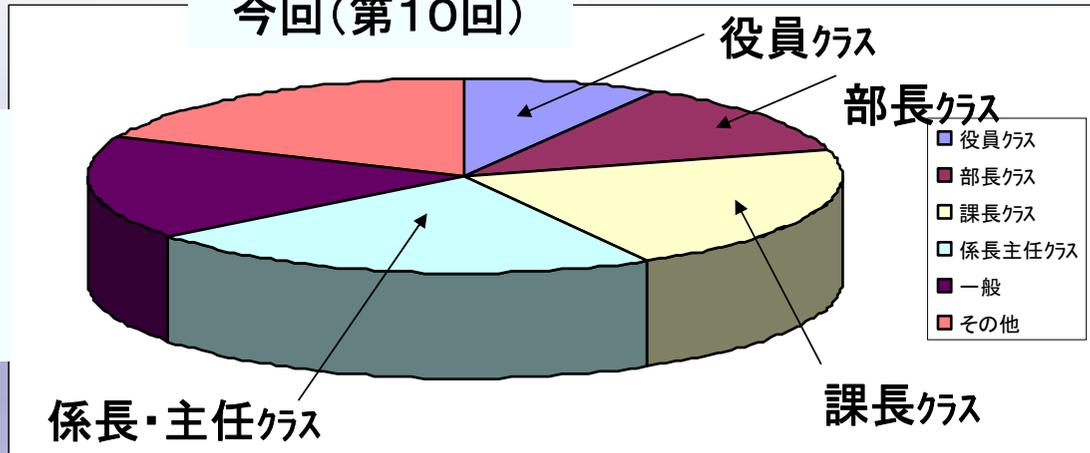


第9回

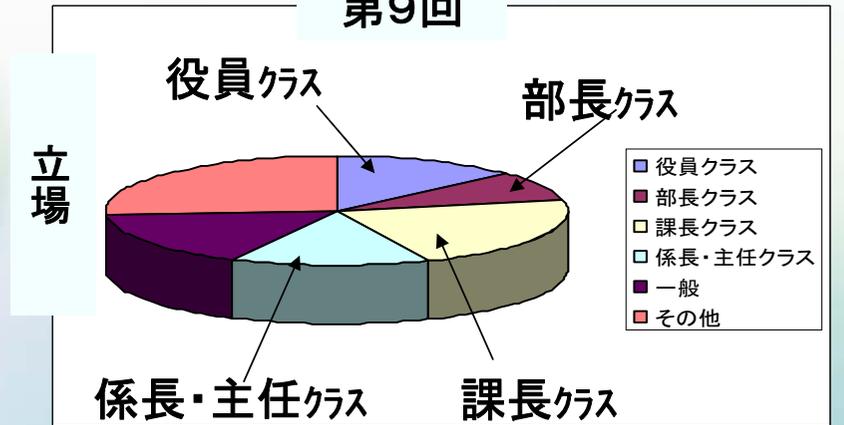


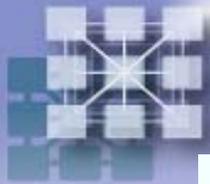
立場

今回(第10回)



第9回

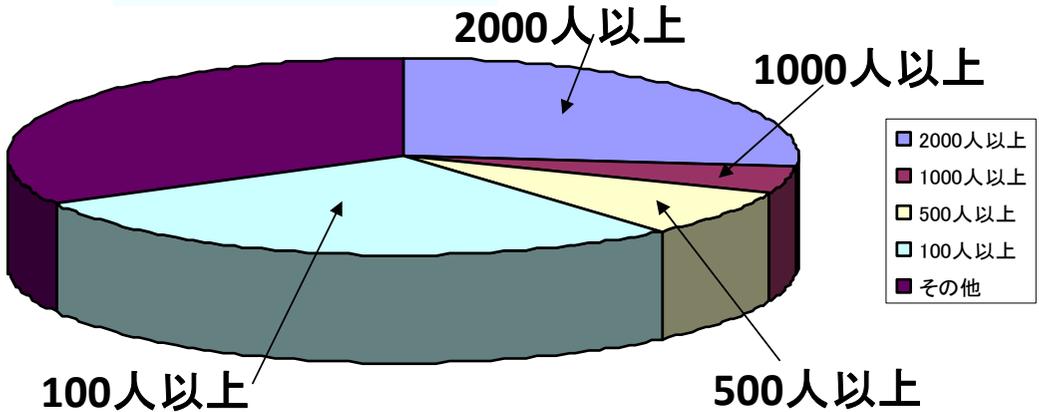




参加者の部門規模と職種

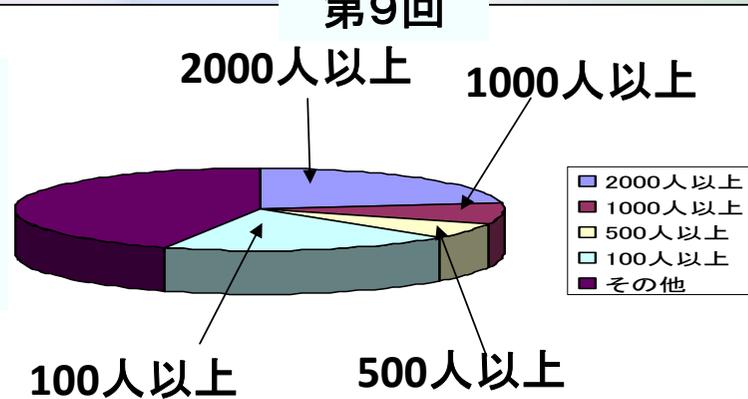
今回(第10回)

部門規模



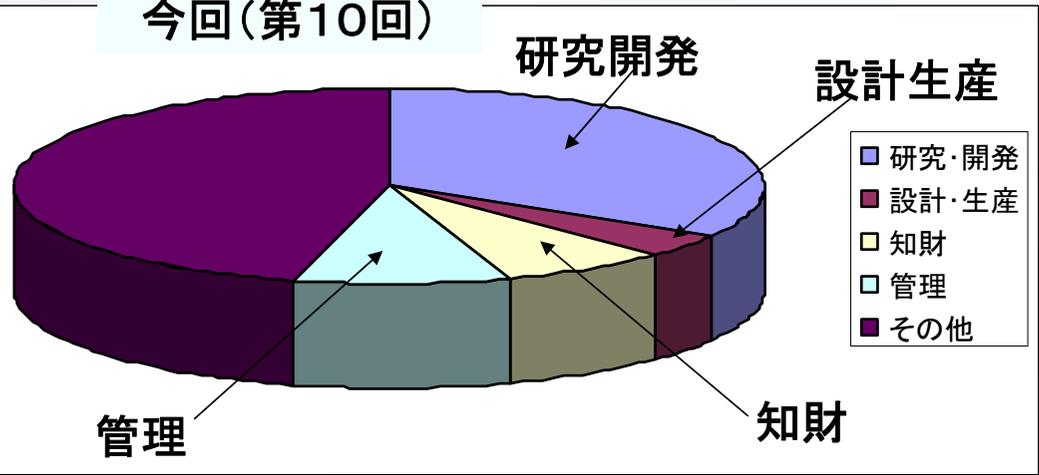
第9回

部門規模



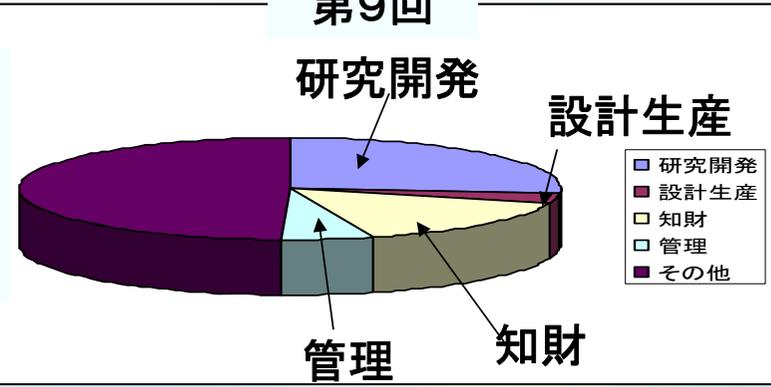
今回(第10回)

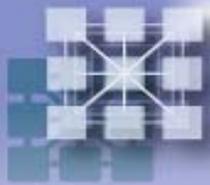
職種



第9回

職種





NPO法人 日本TRIZ協会 とは

2004年5月 TRIZ懇話会発足
2005年1月 日本TRIZ協議会に衣替え
2007年12月 NPO法人日本TRIZ協会発足

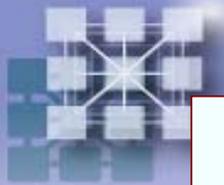
活動形態

会員ベースの公共的なボランティアベースの非営利法人活動

活動の目的

- ・ 日本に於けるTRIZ普及活動のセンターとして機能する
- ・ 我が国の技術開発力、国際競争力強化に資するため、活動をオープンで全国的なものにする
- ・ TRIZに関心を持っている方々のより強固な結集と活動の場を継続的に提供する

活動にご理解をいただき、是非いっしょに活動を！



日本TRIZ協会の活動内容

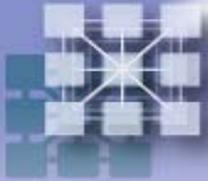
主な活動

TRIZの普及&活用に向け

- ・ シンポジウムの企画開催
- ・ セミナーの企画開催
- ・ 研究会活動
- ・ 教育/出版のためのコンテンツの開発

上記のために以下の組織で活動

- 企画委員会：新規事業の企画立案・推進、中長期計画立案
- 技術委員会：研究会統括推進、コンテンツ開発
- 広報委員会：広報活動企画推進、HP運営、メルマガ発行
- 総務委員会：運営全般、事務局業務、会計業務
- シンポジウム実行委員会：シンポジウムの企画実行



日本TRIZ協会の研究会活動

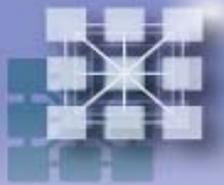
- 知財創造研究分科会（主査：長谷川公彦氏）
 - ・ 活動成果は、明日の午後ポスターセッションで発表
 - ・ 昨年までの成果はCD等で入手できます

- ビジネス・経営TRIZ研究分科会（主査：吉澤郁雄氏）
 - ・ 活動成果は、本日の午後A会場で発表

- 新しい時代の教育研究分科会（主査：黒澤慎輔氏）
 - ・ 活動成果は、本日の午後B会場で発表

これらの研究会活動についての発表をお聞きになって是非ともご参加をご検討下さい。

また、上記以外にもご希望に応じて研究会を開催できます。不明な点は協会関係者に気軽にお問い合わせ下さい。



第10回TRIZシンポジウム準備&実行組織

■シンポジウム実行委員会

実行委員長：三原 祐治

実行副委員長（兼会計担当）：津波古 和司

実行委員（事務局）：池田 理、大田 哲也

実行委員（ホスターセッション担当）：福嶋 洋次郎

実行委員（スライド翻訳）：津波古 和司、小西 慶久

実行委員（広報担当）：前古 護、広報委員会

プログラム委員長：小西 慶久

プログラム委員：有田 節男、坪倉 紀子、澤口 学、大田 哲也

■開催準備協力

会場担当：早稲田大学経営デザイン室 鈴木琢也、澤口学

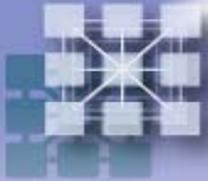
ポスター&パンフレットデザイン：志方 淳子、開催準備：古謝 秀明

■会場設営

早稲田大学経営デザイン室 鈴木琢也

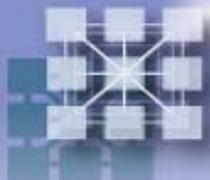
TRIZ協会運営委員

（敬称略）



参加の皆さんへのお願い

- これからの発表に対して
皆さんの活発なご討論をお願いします。
- 有意義な2日間を過ごされることを
期待しています。



謝辞

今回のシンポジウム開催に際し
会場のご使用をご快諾いただき、かつ
種々のご便宜をお図りいただいた
早稲田大学の関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。